

2024年（令和6年）度 事業報告書

V1.4

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

自：2024（令和6年）4月1日～至：2025年（令和7年）3月31日迄

II 事業の成果概要

(NPO 会員数)

今年度の事業方針として、先ずNPO活動の基盤となる会員数の増加を掲げ、取り組んできた。

その結果、2025年3月31日現在で 正会員52名（前年度末49名）、準会員8名（前年度末6名）、賛助会員8名（1団体含む）（前年末7名）、合計68名で、前年度末合計62名に比べ6名増の微増で終わっている。但し、現会員の中に会費未納の方が数名居られ、多少減になる可能性もある。会員になる事で、年4回開催される「新まんてんてらこや」等のイベントに無料で参加できる事などもPRし、更なる増員を進めていきたい。

(サポーターの募集育成)

もう一つ、重要な方針としてサポーターの募集・育成・増員を掲げ、取り組んできた。戦力となるサポーターも高齢化が進んできている事から、サポーターの増員、育成が急務となっていた。比較的最近入られた方々が6名居られ、数名の方は環境整備などの分野で活躍されている方もいる。ただ、新しく入られた方々から、新人の受け入れ態勢ができていないとの指摘もあったので、今年3月に特別会議を開催して全員で意見交換を行い、新しく入られた方の育成トレーナーを決めるなど、体制作りを進めている所である。さらに、ウインドブレーカータイプの制服を新調(150,000円)し、サポーター間の仲間意識の醸成を図るなどの取り組みも実施した。

(オープンサイエンス活動)

昨年度より当NPO法人は京都大学防災研究所附属地震災害研究センターから業務委託を受け、阿武山観測所の見学会に関する管理・運営業務や屋上排水溝の清掃業務などを有償で請け負うこととなっている。これに伴い事務局も受託業務を円滑かつ適切に実施するために、週2日間午前中のみ阿武山観測所に事務局員が有給で出勤して業務を実施している。今年度は現在の、京大防災研の中での当NPOの立場を確固たるものとし、その結果として地震科学における「オープンサイエンス」活動を進め、幅広い人々が学ぶ機会を設けて地域の地震防災・減災社会の構築に取り組み、同時に一般市民の皆様方との交流を図る事を目指した。

この点では一定の成果を収める事が出来たと考えている。

(見学会)

阿武山観測所の見学会には、9名以下の個人や家族を対象とした「一般見学会」と、10名以上のグループを対象とした「団体見学会」がある。一般見学会は毎月2日×2回/日開催している。この一般見学会のお客様人数が、昨年度、今年度と減少傾向が続いており、今年度は、開催予定していた48回/年の一般見学会の内、3回が申込者0（ゼロ）で、開催できなかった。

一方、「団体見学会」については、見学団体数や見学人数で増加傾向を続けており、見学申し込みの団体も変化がみられる。

以前は、どんな所か、一度見学してみようという方々や、ハイキングの途中で寄ってみようというお客様（勿論、この様なお客様も大切であるが）が多かった印象が有るが、今年度は、遠近を問わず、学校関係の生徒・学生さんの団体や、各種成人大学の団体、各地域の自主防災会等の団体など、地震、防災に関心が高い団体のお客様が増えた事を肌で感じている。

(地域との交流)

今年度は「防災をテーマとした地域との交流」という点でも積極的に活動を展開した。先に述べた、団体見学会などでの地元防災会等との交流、阿武山小学校、奈良女子大付属小学校、北摂高校、岡山理科大学の生徒、学生の方々との交流、阿武山公民館、高槻市民カレッジ、高槻市けやきの森市民大学講座「茨木市みんな集まれボランティア」「アクアピアふれあいフェスタ」など、地域の公開イベントへの出展などに参加し、阿武山観測所を地域の皆様に広く知って頂く機会を作った。

(ペットボトル地震計工作)

例年好評をいただいている小学生対象の夏休み企画「ペットボトル地震計講座」は、ペットボトルを使って簡易な地震計を作って地震計の仕組みなどを学ぶ講座で、今年度も例年通り高槻市各所、神戸市の人と防災未来センター、更に今年度は東京都内の企業からもお声がかかり、出張講座を開催して合計で146家族の参加を得、多くの子供達に地震科学への興味を持ってもらうことができた。

(新まんてんてらこや)

専門分野の講演会シリーズ「新まんてんてらこや」は、今年度も対面とオンライン講義のハイブリッド方式、又はオンライン方式のみで、3カ月毎に、第4回、第5回、第6回、第7回と、合計4回開催した。

そのうち、12月1日に開催した第6回「有珠山マイスター・阿武山サポーター交流シンポジウム」では、北海道有珠山マイスターの方々（指導の先生方も含め10名）が観測所に来られ、お互いに活動内容やその課題、悩みなど、色々な面で情報交換を行い、有益な時間を持つことができた。この時には対面、リモート併せて80人の一般、関係者の参加者があった。

(書籍販売)

阿武山観測所及び当法人を紹介した冊子「阿武山観測所ガイドブック」は、主に見学会の機会に積極的に販売活動を行ったが、前年度349冊に対して今年度は296冊を売り上げ、残念ながら前年度には及ばなかった。

また、当NPO理事の梅田康弘先生著の新書籍「地震情報を読み解く」は、観測所見学者を中心に販売したが、前年度106冊に対し、今年度は70冊と、こちらも残念ながら前年に及ばなかった。今年度は昨年度に比べ、大口のまとまった販売が無かったことも一因かと思われる。

(写真コンテスト)

第4回「阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト」は、9才から81才の幅広い応募者から49点の力作が応募され、大賞1点、準大賞2点、入選5点が選ばれた。

今年度も審査員に全日本写真連盟高槻支部の専門の先生にも加わっていただき、先生からは、応募作品のレベルが年々上がっているように感じるとの講評をいただいた。

(アマチュア無線)

更に、阿武山観測所に開局した「アマチュア無線局」は、今年度は京大ウィークスの催しで「南極昭和基地アマチュア無線局(8J1RL)との無線交信チャレンジ!」と銘打って、南極観測隊との無線交信にチャレンジし、天候の関係で2日間の予定の1日だけであったが何とか交信に成功することができた。アマチュア無線の楽しさや防災に役立つ仕組みを多くの子供たちに体験してもらえた。

(環境整備)

観測所敷地内の環境保全では、従来から阿武山グリーンクラブが広大な敷地内の樹木整備や草刈り、植栽など自然環境・景観保持などの活動を継続して行なっており、訪問者や近隣住民の方々に安全かつ快適な環境を提供して喜ばれていた。

しかし、昨年7月20日に、観測所のシンボリックな存在であった、樹齢100年近くになるヒマラヤ杉の大きな枝(重さ50kgは有ると思われる)が、樹の老化により突然落下する事故が発生した。幸い下には人はいなかった為に大事には至らなかったが、観測所周辺には同

様に高齢化した樹木が多く、専門的な知識を持った方々による森林整備の必要性が検討されている時でもあった。

阿武山サポーターの一人が参加されている「茨木里山を守る会」の有志の方々をお願いして力をお借りし、従来のグリーンクラブとは別組織でNPOの中に「森林整備グループ」を発足させ、樹木の整備活動を行なっている。

尚、前述のヒマラヤ杉は、今年の2月15日に伐採された。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 地震学の歴史講座と歴代地震計や地震・防災に関する各種展示のツアーガイド、屋上展望案内を行った。また大阪平野地下の活断層の状況をCG化したビデオ『阿武山アースダイバー』を放映した。
ミニプログラムは日替わりで、阿武山古墳、阿武山観測所の建築、構内の自然観察ツアー、防災クイズを日替わりで実施した。

(実施時の人員体制) 実施時のサポーターの人員配置は通常、以下の通り。

受付係：1名、ホワイエ・書籍販売係：2名、セミナー係：1名
見学案内係：2名/班 (1班は見学者7名程度まで)

(見学者数により1～3班の編成)

ミニプログラム担当：1名

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 原則 毎月第2土曜日/第3日曜日 開催合計43回
(2023年度は48回)

① 午前の部、10：00～12：00

② 午後の部、13：30～15：30

2024年

4月13日/21日、5月11日/19日、6月16日/22日、
7月6日/14日、8月17日/25日、9月14日/22日、
10月5日/20日、11月9日/17日、12月14日/22日、

2025年

1月11日/19日、2月16日、3月8日/16日

※8/25, 9/22, 1/11は、申込者0の為1回/日のみ

※2/8は、路面凍結のため1日(2回分)中止

(事業の対象者) 一般市民 参加者合計346名(2023年度は391名)

(収 益) なし (参加費無料)

(費 用) なし

(2) (事業名) 団体般見学会

(内 容) 10名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに各団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズして実施した。

(実施時の人員体制) 一般見学会のサポーター体制とほぼ同じであるが、お客様の要望に応じてカスタマイズしている。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。開催合計27回(2022年度は23回)

団体が希望する日の主に10：00～16：00の間約2時間実施。

但し一般見学会や他の団体見学会、イベントとは重複させない。

(事業の対象者) 10名以上の一般市民 参加者合計 773名 (2023年度は737名)
(収益) なし (参加費原則無料)
(費用) なし

(3) (事業名) ペットボトル地震計作り講座

(内容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作る。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図る事を目的としている。今年度は夏休み中に東京にも出張開講。また、夏休み以外の2月に、地元の阿武山中学校区青少年育成協議会からの依頼があり、阿武山公民館にて1回行なっている。
今年度は東京分も含め、6か所で開催し合計146組が参加(2023年度は98組)された。
夏休みの自由研究にも貢献する事ができ、ご両親からも喜ばれている。

(実施場所) ①阿武山観測所 ②高槻市立総合市民交流センター ③神戸人と防災未来センター ④東京NTTコム ⑤高槻市立自然博物館 ⑥阿武山公民館

実施場所ごとの明細

(実施日時) ①阿武山観測所(高槻市)7月20日/21日
主催:京都大学阿武山観測所 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は22組47人。
(収益) なし(参加費無料)
(費用) 2,065円(消耗品費)

(実施日時) ②高槻市立総合市民交流センター(クロスパルたかつき)7月27日
主催:高槻市みらい創生室 ①10:15~12:00 ②14:00~15:45
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は29組58人。
(収益) 52,500円
(費用) なし(資材等はボランティアで自前搬送)

(実施日時) ③人と防災未来センター(神戸市)8月3日/4日
主催:人と防災未来センター ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は62組124人。
(収益) 23,500円 別途寄付金150,000円あり
(費用) 40,440円(講師等6名の交通費/27,030円、運搬費/13,410円)

(実施日時) ④東京NTTコム(東京都)8月9日
主催:NTTコムエンジニアリング 14:00~16:00
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者は20組37人。
(収益) 289,080円
(費用) 187,198円(講師等4名交通宿泊費/172,678円、運搬費/14,520円)

(実施日時) ⑤高槻市立自然博物館 (あくあびあ芥川) 8月18日
主催:あくあびあ芥川 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は9組22人。
(収益) 8,000円
(費用) なし(資材等はボランティアで自前搬送)

(実施日時) ⑥阿武山公民館 2月23日
主催:阿武山中学校区青少年育成協議会 ①13:00~15:00
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は4組18人。
(収益) なし 別途寄付金30,000円あり
(費用) なし(資材等はボランティアで自前搬送)

(4) (事業名) 出前講座(防災講演会)

(内容) 地震や防災に関する一般向けの講演会を出前形式で行った。
メインテーマは我々を取り巻く南海トラフ等の地震環境についての講演会で、今後予想される大地震にどのように備えるか、政府発表の臨時情報等も取り入れた解説などをわかり易く説明した。
又、受講者が楽しみながら防災知識を習得して頂ける防災クイズ等、内容のメニューを拡げて、地震・防災に一般市民が関心を持ってもらえるような啓発活動を行う事ができた。
(事業の対象者) 開催地域在住の受講希望者、および要望のあった団体など。

実施場所ごとの明細

(実施場所) ①高槻市けやきの森市民大学講座 参加者94人
(実施日) 6月11.18.25日
(収益) 120,000円 (費用) なし

(実施場所) ②阿武山公民館防災講座 参加者35人
(実施日) 11月22日
(収益) 10,000円 (費用) なし

(実施場所) ⑤高槻市民カレッジ(クロスパル) 参加者55人
(実施日) 12月20日
(収益) 10,000円 (費用) なし

(5) (事業名) 公開講座(新まんてんてらこや)

(内容) 原則3か月に1回、地震や防災に関連する著名な先生方や専門家をお呼びし、NPO会員の方々や一般市民の方々を対象に、最新の研究成果や知見を講演して頂くシリーズで、以前行なっていたものを衣替えして、2021年4月より再スタートした講演会である。
基本、3か月に1回、年4回開催しており、今年度は6月に新シリーズ第4回目、9月に第5回目、12月に第6回目、3月に第7回目を開催した。参加料は、当NPO会員は無料、一般は500円。

実施回ごとの明細

(シリーズ第4回)

(テーマ・講師)「徹底解説 スロー地震」

講師：京都大学防災研究所地震災害研究センター助教 西川友章

(実施場所) オンラインのみで開催

(実施日時) 2024年6月2日 13:30~15:00

(事業の対象者) 一般市民/当NPO会員 参加者 22人

(収益) 1,673円

(費用) 4,580円(ちらし印刷代)

(シリーズ第5回)

(テーマ・講師)「宇宙からの地殻変動精密計測とプレート間巨大地震の発生サイクル」

講師：高知大学名誉教授 田部井隆雄

(実施場所) オンラインのみで開催(台風の為対面は中止)

(実施日時) 2024年9月1日 13:30~15:00

(事業の対象者) 一般市民/当NPO会員 参加者 33人

(収益) 2,802円

(費用) 6,980円(ちらし印刷代)

(シリーズ第6回)

(テーマ・講師)「有珠山マイスターと阿武山サポーターの交流シンポジウム」

講師：(有珠山) 岡田弘 宇井忠英 (阿武山)飯尾能久 矢守克也
矢守研究室 岡田夏美助教

(実施場所) 対面・オンラインのハイブリッド開催

(実施日時) 2024年12月1日 13:30~16:30

(事業の対象者) 一般市民/NPO会員 参加者 80人(一般、有珠山、阿武山計)

(収益) 12,814円(対面14名×500円=7,000円、オンライン参加5,814円)

(費用) 8,030円(ちらし印刷代)

(シリーズ第7回)

(テーマ・講師)「地震だけじゃない! 地震計から探る未知の現象」

講師：京都大学防災研究所准教授 山田真澄

(実施場所) 対面・オンラインのハイブリッド開催

(実施日時) 2025年3月2日 13:30~15:00

(事業の対象者) 一般市民/当NPO会員 参加者 58人

(収益) 17,049円(対面30名×500円=15,000円、オンライン参加2,049円)

(費用) 6,980円(ちらし印刷代)

(6) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動

(阿武山グリーンクラブによる活動)

(内容) 阿武山グリーンクラブが中心となり、約10万平方メートルに及ぶ広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽など訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努めた。また、樹木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行った。

更に、環境整備作業を安全に行えるように、クラブメンバーの方々に安全講習会にも参加して頂いた。

(実施場所) 阿武山観測所構内
(実施日時) 毎週・金曜日
(事業の対象者) 見学者及び地域住民
(収益) なし
(費用) 278,000円(グリーンクラブ安全講習会(チェンソー、草刈り機)受講料)

(森林整備グループによる活動)

(内容) 先の成果概要の項でも述べた通り、今年度より、森林整備の専門的な知識を持った方々で「森林整備グループ」を発足させ、老木が増えてきた構内の樹木の点検、枝打ち、伐採などの作業を、必要に応じ不定期に活動を行った。
隣接する民家の依頼などにも対応し、我々サポーターや見学者の安全を守ると共に、隣接する民家の方々からも大変喜ばれている。尚、防災研からも資金的なご協力も頂き、高所作業のための農機具の購入なども行なっている。
尚、成果概要でも述べたように、森林整備グループの手で、観測所のシンボルでもあった、老朽化したヒマラヤ杉の伐採も行なった。

(実施場所) 阿武山観測所構内
(実施日時) 不定期
(事業の対象者) 見学者及び地域住民
(収益) なし
(費用) なし

(7) (事業名) 地震防災研究成果・教育事業

(内容) 満点地震計観測実習
(実施場所) 阿武山観測所
(実施日時) 5月14日
(事業の対象者) 大阪大学 大学院理学研究科 学生
(収益) 2,500円
(費用) なし

(8) (事業名) 京都大学からのオープンサイエンスに関わる受託業務

(内容) 阿武山観測所の見学会に関する管理・運営業務や屋上排水溝清掃業務
(実施場所) 阿武山観測所内
(実施日) 一般見学会開催日及び、月・木曜日午前中
(事業の対象) 見学会等円滑運営のため
(収益) 479,490円
(費用) 501,400円

(9) (事業名) 第3回 阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト

(学術、教育、文化・芸術の支援事業)

(内容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々の写真を一般公募し、今年は9才から81才までの方々から多くの応募があった。入賞者には賞金や記念品を贈呈。作品は当法人のホームページに掲載している。
また日本風景写真協会京都支部長に審査のご協力をいただいた。今後も文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人の活動PRを行い、新規会員の獲得につなげていきたい。

- (実施場所) 阿武山観測所及び北摂地域
(実施日時) 2023年9月1日～12月31日(応募期間)
(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員(応募数49点)
(収益) なし(応募料は無料)
(費用) 31,080円(賞金:大賞1名10,000円、準大賞2名各5,000円、
入選者5名の記念品送料1,080円、審査費10,000)

2 その他の事業

- (1) (事業名) 書籍販売(地震・防災に関連する資材や物資の紹介と販売事業)
(実施場所) 阿武山観測所
(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日
(事業の対象者) イベント参加者
(内容) ①「阿武山観測所ガイドブック」の販売。
地震学と阿武山観測所の歴史や保存展示している歴代地震観測機器の
解説。昭和初期の歴史的な建築物や周辺の自然や眺望なども紹介。
(収益) 148,000円(販売実績296冊)
(費用) 29,849円(原価100.8円/冊×296冊)
- (内容) ②書籍「地震情報を読み解く」梅田康弘先生著の出版、販売。
2008年発足の報道関係者向け勉強会「関西なまずの会」で講義を行っ
たテーマを整理し、地震学の基礎的な解説を加えた入門書。
(収益) 104,990円(販売実績70冊)
(費用) 46,200円(原価660円/冊×70冊)

IV 課題および特記事項

(1) 課題

- ① 会員数増を計画したが、積極的かつ効果的な勧誘活動ができず、結果、会員総数は68名で前年度と比較して会員数は6名増のみと微増の結果に終わった。この中には2024年度に年会費を納入いただけなかった会員様もおられ、2年間年会費を頂けなかった場合は自動退会となるという定款の規定により、68名より減少する可能性もある。来年度は会員の方々へ当NPO法人の会員としてのメリットを感じられるサービスや情報の提供し、活動を支援いただくための更なるアピールが必要である。
- ② NPO活動を支えるサポーター会メンバーの高齢化が進み、一部の日々の活動に参加できる方の人数が減少してきている。今後、更に活動の幅を広げてゆく為にも比較的若いメンバーを育成して行く事が急務となっている。冒頭の成果概要で述べたように、新しく入られた方々の指摘もあったので、育成するための体制作りを進めている所であるが、早い段階でマニュアル作成や、受け入れするための体制を完成させた上で、今後定期的に新人サポーターの募集を行なって増員を図って行くと共に、サポーター同士の懇親や交流の機会や場を増やしてゆく事も重要であると考えている。
- ③ ここ数年、団体見学会は団体数、見学人数ともに増加してきているが、一方一般見学会の申込者数については減少が続いている。この原因について内部の定例会議などで検討をした結果、次の様な事が原因ではないかと考えられた。

・一般見学会については、見学会が始まって約10年、ほぼ同じ内容で行なってきた。いつ来ても同じ内容であるため、リピーター客を呼びこめていないのではないか。

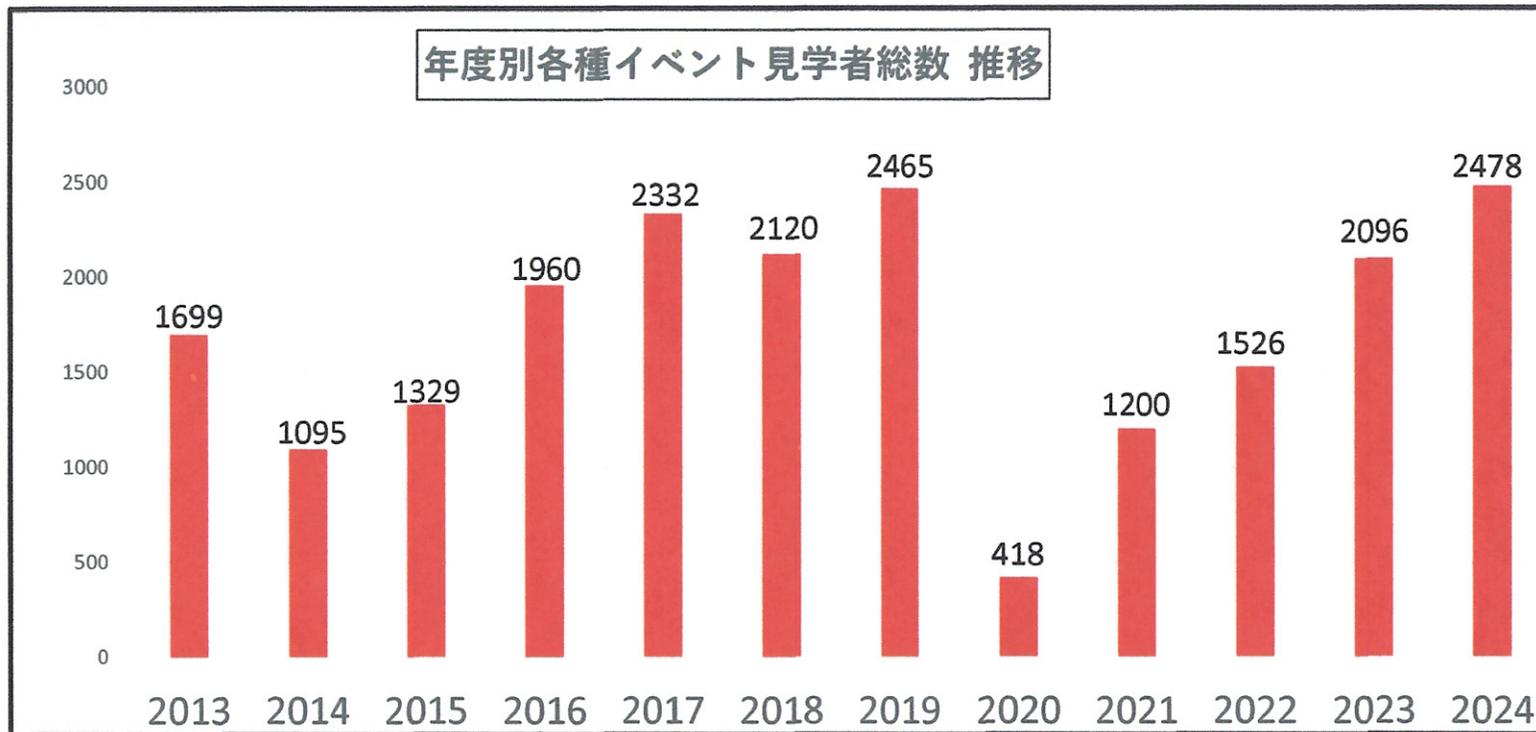
・一般見学会で、「おまけのプログラム」として、サポーターが制作した地震とは関係が無くても阿武山観測所に関係のある「阿武山古墳」「観測所の建築」「阿武山の自然」「防災クイズ」などのミニプログラムを日替わりで実施しているが、当日のテーマが当日にならないとわからないため、見学客の期待とのミスマッチが生じていた。

・観測所近隣の方々でも、観測所で見学会を行なっている事を知らない方々も多い事が分かった。従来以上に地元との交流、宣伝が必要であると思われる。以上の様な反省の下、一般見学会の内容を2025年度から半年間、テスト的に実施し、今後の在り方を探っている所である。

④ 今後の問題として、従来、団体見学会は参加費無料で受付けているが、団体の中には有料の催しの中に阿武山観測所の団体見学を組み込む例があり、こういった場合は申し込み受付時に団体主催者側と見学の有料化を交渉している。

⑤ 一昨年、団体見学会において、サポーター1名がお客様案内中に西館裏の階段で転倒して大怪我をする事案が発生した。以降、来館される見学客やサポーターに万一の事が発生しない様に、京都大学からも色々支援を頂きながら対策を講じてきている。毎回見学会開始ミーティングではサポーター個人の体調の確認を行ない、また、見学ツアーの出発前に、見学客に安全に対する注意事項の説明を行なっている。特に見学中の階段昇降や高齢者案内の時には、見学各班のサブ担当者が最後尾で安全監視する事などを徹底している。設備面においては、京都大学から多大なご支援を頂き、見学客やサポーターが昇降する階段の必要な所には、ほぼ全ての箇所に丈夫な手摺を設置し終わっている。これらの手摺は高齢の見学者からも非常に好評である。ただ、「安全」については、これで良い、という到達点は無いと思うので、我々サポーターも気を緩める事の無いよう取り組んでゆくと同時に、今後は、サポーターの中に日赤病院の現役看護師の方が居られるので、「健康管理」等の面にも取り組んで行きたい。

以 上



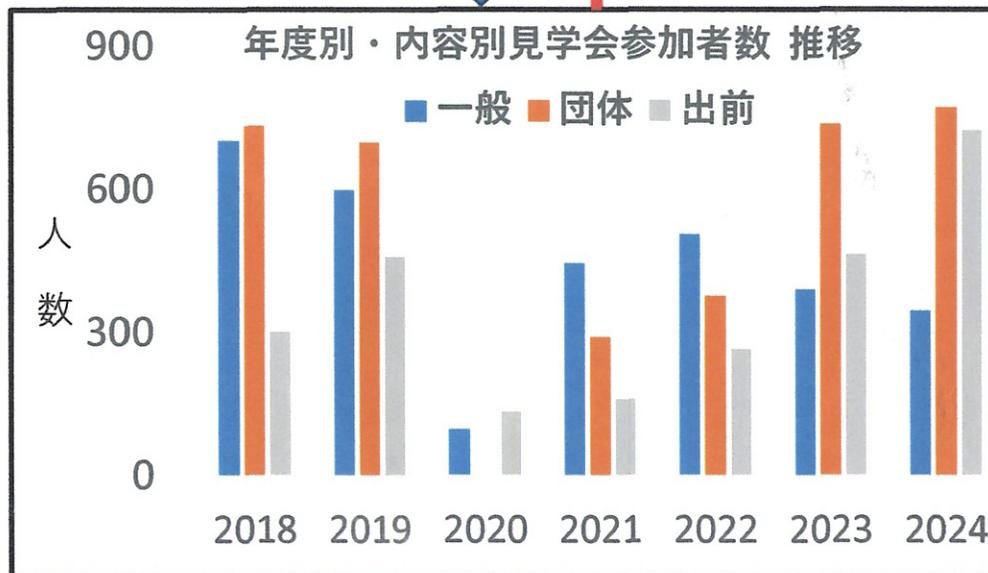
コロナ禍

NPO設立

| | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|----|------|------|------|------|
| 一般 | 703 | 599 | 98 | 446 |
| 団体 | 734 | 699 | 0 | 291 |
| 出前 | 303 | 459 | 135 | 161 |

| | 2022 | 2023 | 2024 |
|----|------|------|------|
| 一般 | 506 | 391 | 346 |
| 団体 | 377 | 737 | 773 |
| 出前 | 265 | 465 | 725 |

出前内訳 (2024年度)
 ペットボトル工作 248人
 防災講演会 166人
 展示イベント会 311人
 (京大ウイークス、新まんてんてらこやは含まず)



京都大学 阿武山地震観測所

参加費
無料

一般見学会

SCIENCE MUSEUM 2025

阿武山観測所では午前の部では **地震学セミナー**、午後の部では **各種特別セミナー**を開催いたします

地震学セミナー



地震学、地震計など、地震に関する事を深く学べます

観測所の建築



映画ロケ地にもなった昭和レトロな建物を紹介します

阿武山古墳



観測所裏で偶然発掘されたミイラの謎等を解説します

防災クイズ



クイズに参加しながら楽しく防災対策を学べます

阿武山の自然



阿武山に生息する植物や動物、昆虫などを紹介します

西館ツアー



普段は公開されていない工作室、資料保管庫等を公開します

2025年度上期(4月～9月)のセミナー日程表

| | | 開催日・セミナーの内容 | | | | 開催日・セミナーの内容 | | |
|----|----|-------------|--------|----|--------|-------------|--------|-----|
| 4月 | 午前 | 地震学 | 20日(日) | 7月 | 午前 | 地震学 | | |
| | 午後 | 観測所の建築 | 午後 | | 阿武山古墳 | 午後 | 防災クイズ | |
| 5月 | 午前 | 地震学 | 18日(日) | 8月 | | | 24日(日) | |
| | 午後 | 防災クイズ | 午後 | | 阿武山の自然 | 午前 | 地震学 | |
| 6月 | 午前 | 地震学 | 22日(日) | 9月 | 午前 | 地震学 | 午前 | 地震学 |
| | 午後 | 観測所の建築 | 午後 | | 阿武山古墳 | 午後 | 阿武山の自然 | 午後 |

※都合により午後の特別セミナーの内容が変更になる場合があります

主催 : 京都大学阿武山観測所

共催 : NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

後援 : 高槻市、茨木市教育委員会

一般見学会 2025年度上期 (4月~9月) プログラム

1. (午前の部) 10時00分~12時00分(2時間)

- ・地震学セミナー(地震学の基礎と歩み)
- ・歴代地震計見学ツアー
- ・屋上展望(雨天は中止)
- ・阿武山アースダイバー(大阪平野の地下2000mのCG映像)

2. (午後の部) 13時30分~15時30分(2時間)

※・特別セミナー

- ・歴代地震計見学ツアー
- ・屋上展望(雨天は中止)
- ・阿武山アースダイバー(大阪平野の地下2000mのCG映像)

※特別セミナーは「観測所の建築」「阿武山古墳」「防災クイズ」「阿武山の自然」「西館ツアー」の5種類を日替わりで開催します それぞれの開催日は表面のセミナー日程表をご確認ください

【申込み】開催日の前日15時まで下記ウェブサイトからお申込みください

<https://npo-abuyama.org> (NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム)

同じ日に午前の部と午後の部を両方受講される場合は、
お手数ですが各々にお申込みをお願いいたします

【問合せ】事務局宛メール: r-tour@npo-abuyama.org



■バス/徒歩 高槻市営バス(JR摂津富田駅)
・「公団阿武山行き」で「消防署前」下車
徒歩約30分(1,800m)
・「奈佐原行き」または「萩谷行き」で「奈佐原」下車
徒歩約30分(2,100m)

■自動車/タクシー
「消防署」または「浄正寺」方面よりお越しください。
観測所ゲートを入り約800mです。(駐車場6台)

■カーナビを見てお越しになる方は「阿武山学園」
を入力し、その前の道を直進して頂くと、観測所
正門ゲートに到達します。
ゲートを通り抜け、道なりに進んでください

※「阿武山観測所」を入力すると 到達できない場
合があります



阿武山観測所は開設以来の面影を保持する文化遺産としての建物です
ご不便をおかけする面がありますがご了承ください
・各フロアの移動は階段のみとなります
・食堂・売店はありません

出前講演会



ペットボトル地震計を作ろう！



プログラムの内容

やさしい地震学セミナー

+

ペットボトル地震計工作

(プログラム引用: 神奈川県温泉地学研究所)

地震はどうして起こる？

地震計はどのようにして地震の揺れを計っている？

地震学の基礎を学びながら、ペットボトルを使って、本物と同じ仕組みの地震計を工作します。

・ 所要時間：約90～120分

1日における実施回数：最大2回まで

：開始前の会場準備に1時間、終了後の後始末に30分の時間が必要です。(工作に電源コンセントが必要)

・ 対象：小学生4年生以上の子供さんと保護者のペア

又は 大人の方を対象とした内容にアレンジも可能です。

・ 定員：1回につき、15組30名まで

・ 用意するもの：2ℓの角型ペットボトル(ふた付き)1つ

・ お問い合わせ・お申込み：contact@npo-abuyama.org

・ お申込み団体名、担当者名、開催場所、予定人数、開催希望日、担当者メールアドレスなどをお知らせください。

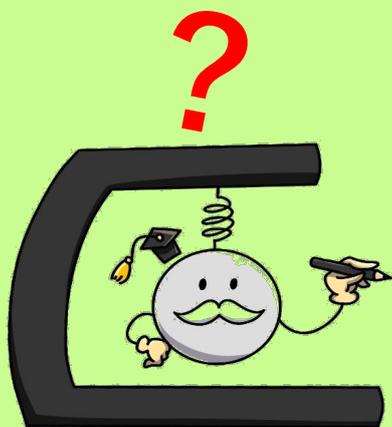
・ デリバリ費用などについてはご相談させていただきます。



出前講演会



みんなで学べる 防災対策クイズ



プログラムの内容

全員参加のクイズ形式で、
地震、防災を学ぶ講演会

- ・ 所要時間：約60分
- ・ 内容：地震はなぜ起きるのか？
台風や大雨など自然災害にはどんな危険があるのか？
災害に備えるにはどうすればいいの？
地震や防災のこと、知ってるつもりで知らなかった！
子供も大人も楽しくクイズで学んで、みんなで防災力をアップしよう！！
- ・ 対象：子供（小学校3年生以上）および一般の方々向け
- ・ 定員：会場の都合に合わせてます

・ お問い合わせ・お申込み：contact@npo-abuyama.org

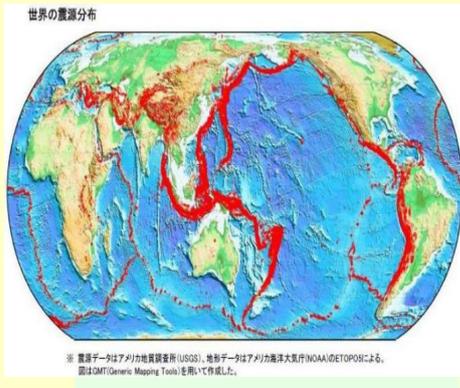
- ・ お申込み団体名、担当者名、開催場所、予定人数、開催希望日、担当者メールアドレスなどをお知らせください。
- ・ デリバリー費用などについてはご相談させていただきます。



出前講演会



地震・防災講演会 「いつか起こる」は今日かもしれない



プログラムの内容

1. 地震はなぜ起こる？ いつ起こる？
2. 内陸地震(断層型地震)・最近の地震
3. 海溝型地震(南海トラフ地震)と
政府臨時情報
4. 巨大地震 その時何が起こるか？
5. 巨大地震にどう備えるか？

- ・ 所要時間：約60分～120分（ご要望に合わせてます）
- ・ 内容：内陸地震、海溝型地震とは？
最近起きた内陸地震はどんな地震だったのか？
「南海トラフ地震に関する臨時情報」って何？
南海トラフ地震が起きるとどんなことが起きる？
どう備える？
- ・ 対象：一般の方々向け
- ・ 定員：会場の都合に合わせてます。
リモートでも対応可能です。

・ お問い合わせ・お申込み：contact@npo-abuyama.org

- ・ お申込み団体名、担当者名、開催場所、予定人数、開催希望日、担当者メールアドレスなどをお知らせください。
- ・ デリバリー費用などについてはご相談させていただきます。

